

「バラ解説」をご利用いただくにあたり

この度はご採択を賜り、誠にありがとうございます。
つきましては、「バラ解説」をご利用いただく場合の留意点等、ご一読の程をお願い申し上げます。

従来「解答解説書」の問題点

- ・「解答解説書」を先に渡すと、「答え」を丸写しして…勉強にならない。
- ・かといって、1冊終えた後に渡しても…読まない。
- ・その都度「バラの解答解説」を用意しても…読まない。

★「解説」を読むことで学習効果が上がるのに…読ませたい、考えさせたい。

「問題集」の「解説書」と「解答書」を分けたねらい

- 「バラ解説」でない場合の構成と使用例
構成（本書1冊／解答書1冊／解説書1冊）
・本書と解説書を同時に配布。

☆問題を解くにあたり、解説書を読みながら解きすすめていく…読む。

（「解答そのもの」は掲載していないので「丸写し」はできません）

1回ごとに配りたい場合

「バラ解説」の構成と使用例

- 構成（本書1冊／解答書1冊／バラ解説 問題数分／解答PDF）
・本書の一題を解いた後、バラ解説（一回分）を配布。
必要によって、本CD-R内の「解答PDF」を掲示。

☆問題はまず自力で解く。
頭に残っている内に、解説書を…考える、読む。

熟読する必要はありませんが、上記いずれの場合も「解説を読む」ことを習慣づけることにより、国語の設問に対する「既視感」や「気づき」等、大幅な学力の向上が期待できるはずです。

1

仮名草子

伊曾保物語

本書↓p.4／解説書↓p.4

問二

- ① ㊦イタワリ ㊦ ㊦ヨツテ ㊦ ㊦オモイケン ㊦ ㊦ワキマエズ
 (3点×4)

問三

- ㊦ ㊦ワ行エ段 ㊦ ㊦ワ行オ段
 (3点×2)

問四

- (1)
 (1点×3)

	ア行	イ段	ウ段	エ段	オ段
ワ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
ヤ行	や	い	ゆ	え	よ
ア行	あ	い	う	え	お

- (2) 1 ㊦ ㊦いる 2 ㊦ ㊦すえ 3 ㊦ ㊦かかく
 (1点×6)

- 4 ㊦ ㊦ゆうれい 5 ㊦ ㊦ちようど 6 ㊦ ㊦おうぎ

問五

その膝に登く舐りまはる
 (6点)

問六

(子犬のように)主人にかわいがられたいと思った(から。)(15字)
 (10点)

問七

イ
 (7点)

問二

ア ㊦エ ㊦㊦ウ

〈3点×2〉

問三

(1) イ ㊦いうよう ウ ㊦なんじ

〈2点×2〉

(2) イ ㊦ユーヨー ウ ㊦ナンジ

〈2点×2〉

問四

(1) a ㊦コ b ㊦オ c ㊦ア d ㊦ア e ㊦イ f ㊦カ

〈1点×6〉

(2) この／亀を／もと／の／海に／返しけり

〈4点〉

問五

1 ㊦ク 2 ㊦ケ 3 ㊦イ 4 ㊦カ 5 ㊦ウ

〈1点×10〉

6 ㊦エ 7 ㊦オ 8 ㊦キ 9 ㊦ア 10 ㊦コ

問六

ア

〈6点〉

問七

長生きする 〔別解〕命の長い

〈10点〉

3

説話

古本説話集

本書↓p.8／解説書↓p.12

問一

- ① 和泉式部 ② 和泉式部 ③ 保昌 ④ 保昌

〈2点×4〉

問二

- A が B 時 C を D が E を F が

〈2点×6〉

問三

鹿がひどく鳴いているので

〈6点〉

問四

- ① ア ② エ

〈5点×2〉

問五

イ

〈6点〉

問六

- (1) エ (2) ウ

〈4点×2〉

4

説話

古今著聞集

本書 ↓ p.11 / 解説書 ↓ p.17

問二

(1)

〈1点×3〉

㊦	㊧	㊨	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用行
㊩	㊪	㊫	いふ	い	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	ハ行
㊬	㊭	㊮	あやまつ	あやま	た	ち	つ	つ	て	て	タ行
㊯	㊰	㊱	負ふ	負	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	ハ行

(2) 1 ㊲問は 2 ㊳あつまり 3 ㊴あふ 4 ㊵思へ 5 ㊶行け 〈2点×5〉

問三

① ㊷子猿 ② ㊸大猿

〈4点×2〉

問四

大猿が子猿を木の股に置こうとすること。(19字)

〈10点〉

問五

ア

〈6点〉

問六

ウ

〈7点〉

問七

イ

〈6点〉

問二

ア || エ イ || ア

〈3点×2〉

問三

(1) ① || ナ行下二段活用・已然形 ② || ヤ行上二段活用・連用形 (3点×3)

③ || ヤ行下二段活用・連体形

(2)

〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の行・種類
寝	(寝)	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ	ナ行下二段活用
過ぐ	過	ぎ	ぎ	ぐ	ぐる	ぐれ	ぎよ	ガ行上二段活用

問四

ウ

〈6点〉

問五

見つけることができない。

〈6点〉

問六

いとあまたゝもてゆかむ

〈8点〉

問七

口惜しき(4字)

〈5点〉

問八

エ

〈8点〉

6

説話

古今著聞集

本書 ↓ p. 16 / 解説書 ↓ p. 26

問二

ア II ア ① II ウ

〈3点×2〉

問三

〈2点×4〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の行・種類
④	(見)	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ行上一段活用
③	(蹴)	け	け	ける	ける	けれ	けよ	カ行下一段活用
②	(着)	き	き	きる	きる	きれ	きよ	カ行上一段活用
①	(居)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	ワ行上一段活用

問四

(1) ア

〈4点〉

(2) ・鷹を手に据ゑたるほど(10字) ・平笠を着たるほど(8字)

〈4点×2〉

問五

エ

〈7点〉

問六

エ

〈6点〉

問七

(1) I II ウ

II II ア

〈2点×2〉

(2)

III II 臥し

IV II 大極殿

〈2点×2〉

〈3点〉

問二 ア || ア ① || エ

〈3点×2〉

問三 a || イ b || カ c || ア d || イ e || イ

〈2点×5〉

問四 (1)

〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用之行・種類
来	(来)	こ	き	く	くる	くれ	こ(こよ)	力行変格活用
す	(す)	せ	し	す	する	すれ	せよ	サ行変格活用

(2) 1 || おはし / イ 2 || せ / ア 3 || せ / ア

〈1点×5〉

4 || 持て来 / ウ 5 || 来 / ア

問五 ① || イ ③ || エ

〈3点×2〉

問六 その子を、こちらへ連れて来い

〈3点〉

問七 ア

〈6点〉

問八 兄との結婚の約束。(9字)

〈6点〉

問九 I || ウ II || ア

〈3点×2〉

問二

ア 〓 大切に育てる ① 〓 下句

〈4点×2〉

問三

㊦

〈6点〉

問四

(1)

〈1点×3〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用之行・種類
あり	あ	ら	り	り	る	れ	れ	ラ行変格活用
侍り	侍	ら	り	り	る	れ	れ	ラ行変格活用
死ぬ	死	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね	ナ行変格活用

(2) 1 〓 連用形 2 〓 未然形 3 〓 連体形

〈2点×3〉

問五

ア

〈7点〉

問六

(1) 空高く飛び上がっていく蜚。(13字)

〈10点〉

(2) ア

〈10点〉

9

日記

土佐日記

本書↓ p. 24 / 解説書↓ p. 40

問一

A 〓 ける B 〓 る

〈5点×2〉

問二

(1) ある

〈10点〉

(2) 鳥の羽のようであるのだろうか。

〈10点〉

問三

イ

〈10点〉

問四

エ

〈10点〉

10

説話

宇治拾遺物語

本書↓ p. 26 / 解説書↓ p. 44

問二

㊦ ㊦消え去る ㊦ ㊦まさか

〈4点×2〉

問三

㊦ ㊦ク活用・終止形 ㊦ ㊦シク活用・連体形

〈3点×2〉

問四

〈1点×3〉

基本形	語幹	未然形		連用形		終止形		連体形		已然形		命令形		活用の種類
白し	白	から	(く)	かり	く	○	し	かる	き	○	けれ	○	かれ	ク活用
悲し	悲	しから	(しく)	しかり	しく	○	し	しかる	しき	○	しけれ	○	しかれ	シク活用
いみじ	いみ	じから	(じく)	じかり	じく	○	じ	じかる	じき	○	じけれ	○	じかれ	シク活用

問五

ウ

〈7点〉

問六

仏の正体が大狸であったこと。(14字)

〈10点〉

問七

ア・カ

〈8点×2〉

問二

ア || エ
イ || ウ

〈2点×2〉

問三

a || エ
b || エ
c || イ

〈2点×3〉

問四

(1)

〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
遙かなり	遙か	なら	なり	なり	なる	なれ	(なれ)	ナリ活用
堂々たり	堂々	(たら)	たり	たり	たる	(たれ)	(たれ)	タリ活用

(2) 1 || オ
2 || ア
3 || イ
4 || ウ

〈2点×4〉

問五

ウ

〈8点〉

問六

イ

〈8点〉

問七

(筆筆と歌を聞いて) 敦兼の風雅な心映えを感じ取った(点。)(15字)

〈14点〉

問二

ア 不審だ ① 理解する

〈3点×2〉

問三

a かなり活用形容動詞／ほのかなり／連用形

〈1点×10〉

b ク活用形容詞／若し／連体形

c ナ行変格活用動詞／死ぬ／連用形

d シク活用形容詞／いみじ／連用形

e ヤ行上二段活用動詞／老ゆ／連用形

f シク活用形容詞／恐ろし／已然形

g ラ行変格活用動詞／あり／連体形

h サ行変格活用動詞／す／未然形

i カ行上一段活用動詞／着る／連用形

j ガ行下二段活用動詞／逃ぐ／連用形

問四

エ 問五 イ

〈各4点〉

問六

死んだ主人の髪の毛でかつらを作るため。(19字)

〈8点〉

問七

ア

〈6点〉

問八

I 支配 II 安らかな得意と満足と III 今時分、この門の上 〈2点×6〉

IV 平凡 V 恐ろしけれ

VI 死人

問二

- ① a ㊦ イ・猛く ㊦ b ㊦ ウ・乗り
㊦ c ㊦ エ・進み ㊦ d ㊦ ア・続き

〈1点×8〉

問三

- 1 ㊦ ㊦ 打つ／ウ 2 ㊦ ㊦ 解い／ア
3 ㊦ ㊦ いたう／イ

〈1点×3〉

問四

- (1) ㊦ ㊦ ウ
(2) ㊦ ㊦ ウ

〈5点〉

〈6点〉

問五

能登殿の、安芸太郎と次郎を道連れにして自害しようとする行為。(30字)

〈12点〉

問六

エ

〈8点〉

問七

エ

〈8点〉

14

仮名草子

伊曾保物語

本書↓ p. 36 / 解説書↓ p. 62

問二

- ㊦ ㊦ カ ㊧ ㊦ ウ ㊨ ㊦ ア
㊩ ㊦ イ ㊪ ㊦ オ

〈2点×5〉

問三

エ

〈8点〉

問四

ア

〈8点〉

問五

食物足つて乏しきことなし。

〈8点〉

問六

おっしゃるけれども

〈8点〉

問七

イ

〈8点〉

15

随筆

花月草紙

本書↓ p. 38 / 解説書↓ p. 66

問二

ア 効果 ① 時

〈4点×2〉

問三

a ㄱ b ㄴ c ㄷ d ㄹ
e ㄴ f ㄷ g ㄹ

〈2点×7〉

問四

自分が秋に病気になること

〈10点〉

問五

そのようにおっしゃるならば

〈8点〉

問六

ウ・オ

〈5点×2〉

問二 六月・みなづき

〈2点×2〉

問三 ① 〓 (言っても) 仕方がない ㊦ 〓 頼りにする・あてにする

〈3点×2〉

問四 ㊦ 〓 過去・連体形 ㊦ 〓 過去・連体形

〈3点×2〉

問五 (1)

〈1点×2〉

		未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
き	(せ)	○	き	し	しか	○	連用形(カ変・サ変には未然形にも)	
けり	(けら)	○	けり	ける	けれ	○	連用形	

(2) 1 〓 過去・已然形 2 〓 過去・連体形 3 〓 詠嘆・終止形 〈2点×3〉

問六 イ

〈5点〉

問七 誰が一人で旧都に残ろうか、いや誰もいない。

〈6点〉

問八 多くの家が集まり栄えていたが、日が経つにつれ荒れていく様子。(30字)

〈15点〉

問二 ア 〓様子 ① 〓このような

〈3点×2〉

問三 ㉑ 〓完了・連用形 ㉒ 〓完了・終止形 ㉓ 〓強意・終止形

〈3点×3〉

問四 (1)

〈1点×2〉

		未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
ぬ	つ	な	て	ぬ	ぬる	ぬれ	てよ	連用形
		に	て	つ	つる	つれ	ね	連用形

(2) 1 〓完了・連体形 2 〓完了・連用形 3 〓強意・終止形 〈2点×3〉

問五 縁側に腰掛ける無礼な態度をとったから。(19字)

〈12点〉

問六 エ

〈6点〉

問七 ウ

〈9点〉

問二

㊦ ∥ ついで ㊦ ∥ 理由

〈3点×2〉

問三

㊦ ∥ 完了・連体形 ㊦ ∥ 存続・連体形 ㊦ ∥ 存続・已然形

〈3点×3〉

問四

(1)

〈1点×2〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	連用形
り	ら	り	り	る	れ	れ	※特殊

※「り」の接続…（サ変）型活用語の（未然形）及び、（四段）型活用語の（已然形・命令形）。

(2) 1 ∥ 完了(存続)・連体形 2 ∥ 存続・連体形

〈2点×2〉

問五

高貴な人がお亡くなりになった

〈8点〉

問六

とるに足りない身分の者がどれくらい亡くなったか(ということ。)(23字)

〈15点〉

問七

エ

〈6点〉

問二

ア Ⅱ どうしようもない ① Ⅱ 無駄である

〈3点×2〉

問三

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×2〉

① Ⅱ 吠え(ヤ行下二段活用動詞「吠ゆ」未然形)／られ(受身の助動詞「らる」連用形)
 ② Ⅱ 思ひやら(ラ行四段活用動詞「思ひやる」未然形)／れ(自発の助動詞「る」連用形)

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ	四段・ナ変・ラ変の未然形
る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ	右以外の未然形

(2) 1 Ⅱ エ 2 Ⅱ ア 3 Ⅱ イ 4 Ⅱ オ 5 Ⅱ ウ

〈2点×5〉

問五

犬にさえ悟られた。

〈6点〉

問六

鬼に姿を変え、十二類がうろたえるときに、全員を食べてしまおう

(という「くはだて」。(30字) 〈8点〉

問七

ア 〈8点〉

問八 ウ 〈4点〉

問二

ア || 評判 ① || 事情・旨

〈3点×2〉

問三

a || 尊敬・連用形 b || 使役・連用形

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×4〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
す	せ	せ	す	する	すれ	せよ	四段・ナ変・ラ変の未然形
さす	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ	右以外の未然形
しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	未然形
サ変「す」	せ	し	す	する	すれ	せよ	

(2) 1 || ウ 2 || ア 3 || エ 4 || イ

〈2点×4〉

問五

ウ

〈4点〉

問六

(1) ア

〈5点〉

(2) 京からこっそり取り寄せた水でふたたび昭乗に文字を書かせる(という方法)。(28字)

〈8点〉

問七

エ 〈5点〉

問八

ウ 〈4点〉

問二 ア 〓 お召しになる ① 〓 思案する

〈2点×2〉

問三 a 〓 エ b 〓 オ

〈3点×2〉

問四 (1)

〈1点×3〉

べし	むず	む	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
べから	〇	〇	未然形	〇	む	む	め	〇	未然形
(べく)	〇	〇	連用形	〇	むず	むずる	むずれ	〇	未然形
べかり	べく	べし	終止形	べき	べけれ	〇	〇	〇	未然形
〇	〇	〇	連体形	〇	〇	〇	〇	〇	未然形
べかる	べき	べけれ	已然形	命令形	接続	終止形	未然形	未然形	未然形
〇	〇	〇	命令形	接続	終止形	未然形	未然形	未然形	未然形
〇	〇	〇	命令形	接続	終止形	未然形	未然形	未然形	未然形
〇	〇	〇	命令形	接続	終止形	未然形	未然形	未然形	未然形

(ラ変型には連体形)

(2) 1 〓 イ 2 〓 ウ 3 〓 ア 4 〓 カ

〈2点×4〉

問五 I 〓 強盗(が) II 〓 奪い取った(小袖をわが物と思う。)

〈5点×2〉

問六 ② 〓 ウ ④ 〓 エ

〈4点×2〉

問七 差し上げよう。

〈5点〉

問八 ア

〈6点〉

問二
ウ

〈3点〉

問三
(1)

〈1点×2〉

	けむ	らむ	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
	○	○							
	○	○							
	けむ	らむ							
	けむ	らむ							
	けめ	らめ							
	○	○							
	連用形	終止形 (ラ変型には連体形)							

問四

- (2) 1 ㍿キ 2 ㍿カ 3 ㍿イ 4 ㍿ア
- (1) はつきりと答える人さえいない。

〈2点×4〉

〈7点〉

- (2) 富士の山から煙が絶えた年。(13字)

〈10点〉

問五

イ

〈10点〉

問六

ア

〈10点〉

問二

ア 〓 清らかで美しい ① 〓 端正である

〈3点×2〉

問三

a 〓 打消推量・連体形 b 〓 打消意志・終止形

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×2〉

	まじ	じ					
	まじから	まじかり	〇	〇	〇	〇	〇
	(まじく)	まじく	まじ	まじ	まじき	まじけれ	〇
	まじかる	まじかる	〇	〇	〇	〇	〇
	終止形 (ラ変型には 連体形)	終止形	未然形	未然形	未然形	未然形	未然形

(2) 1 〓 打消推量 2 〓 打消意志 3 〓 不可能

〈2点×3〉

問五

おっしゃるな。

〈6点〉

問六

1 〓 親のもとにいてお世話をしたい(14字)

〈5点×2〉

2 〓 全く許してくれない(9字)

〈6点〉

問七

イ

〈8点〉

問八

ア

〈6点〉

問二

ア 驚きあきれる ① 大声で騒ぐ

〈3点×2〉

問三

a ア b ア c カ d エ e オ

〈2点×5〉

問四

(1)

〈1点×3〉

伝聞・推定	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
なり	○	(なり)	なり	なる	なれ	○	終止形 (ラ変型には連体形)
断定 なり	なら	なり	なり	なる	なれ	なれ	体言・連体形
断定 たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	体言

(2) 1 オ 2 ウ 3 ア 4 ア

〈1点×4〉

問五

大勢で来る音がするようだ。

〈5点〉

問六

自分が座るはずの場所に新しい不動尊が座っていたから。(26字)

〈10点〉

問七

エ 問八 イ

〈各6点〉

問二

㊦ ∥ 結婚する ㊩ ∥ 並ひととおりだ

〈4点×2〉

問三

(1) 発音 ∥ アンメレ 音便を使わない形 ∥ あるめれ

〈2点×2〉

(2) ア / 活用の種類 ∥ シク(活用) 活用形 ∥ 連体(形)

〈2点×2〉

問四

(1)

〈1点〉

めり							
○	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
(めり)							
めり							終止形 (ラ変型には連体形)
める							
めれ							
○							

(2) 1 ∥ ある / あるそうな

〈2点×2〉

2 ∥ をかしかる / おもしろいはずのことだろう

問五

ア

〈8点〉

問六

かぐや姫の見たい物を持つてくること。(18字)

〈13点〉

問七

エ

〈8点〉

問二

① 比況・連用形 ② 反実仮想・未然形

〈3点×2〉

問三

(1)

〈1点×4〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
まし	ましか (ませ)	○	まし	まし	ましか	○	未然形
まほし	(まほしく) まほしから	まほしく まほしかり	まほし	まほしき まほしかる	まほしけれ	○	未然形
たし	(たく) たから	たく たかり	たし	たき たかる	たけれ	○	連用形
ごとし	(ごとく) ごとく	○	ごとし	ごとき	○	○	体言・連体形 助詞「が・の」

(2) 1 実現不可能な願望 2 願望 3 願望 4 例示

〈2点×4〉

問四

まったく知らないので

〈6点〉

問五

(1) このような心を起こさなかったならば、極楽、天上界にもきつと生まれただろうに。

〈8点〉

問六

(2) 敵のことを子孫の代までも恨み続ける心。(19字)

〈10点〉

問二 ア 〓 仏道修行をする ① 〓 筆跡

〈3点×2〉

問三 a 〓 受身・連用形 b 〓 意志・終止形

〈3点×4〉

c 〓 使役・連用形 d 〓 打消・連用形

問四 1 〓 尊敬 2 〓 反実仮想 3 〓 打消推量 4 〓 願望

〈2点×4〉

問五 帝に先立たれ申し上げたので、

〈6点〉

問六 エ

〈5点〉

問七 帝の死を悲しむ涙。(9字)

〈5点〉

問八 ウ

〈8点〉

問二

㊦ ㊦ すばらしい ㊩ ㊦ ああひどい

〈3点×2〉

問三

(1) ㊐ ㊦ 完了の助動詞「たり」終止形

〈2点×2〉

㊑ ㊦ 完了の助動詞「ぬ」連体形

(2) 落ち(タ行上二段活用動詞「落つ」連用形)／に(完了の助動詞「ぬ」

連用形)／けり(過去の助動詞「けり」終止形)

〈6点〉

問四

1 ㊦ いらっしゃったのだろう

〈2点×3〉

2 ㊦ あった

3 ㊦ たい

問五

ウ

〈4点〉

問六

(1) 刈り落としてしまった。

〈4点〉

(2) 1 ㊦ 扇

〈3点〉

2 ㊦ 身分をわきまえず無礼だと怒った(15字)

〈6点〉

問七

イ

〈6点〉

問八

イ

〈5点〉

問二 ア ㊦ 一般に ㊦ ㊦ めったにない

〈3点×2〉

問三 ㊦ ㊦ 婉曲・終止形 ㊦ ㊦ 存続・連体形 ㊦ ㊦ 推量・連体形

〈3点×3〉

問四 1 ㊦ 推定 2 ㊦ 打消推量 3 ㊦ 比況(例示)

〈2点×3〉

問五 逢坂の関の清水は走井と同じものではない。

〈6点〉

問六 ア

〈6点〉

問七 どうしてご案内申し上げないだろうか、いやご案内申し上げよう。

〈5点〉

問八 エ

〈7点〉

問九 エ

〈5点〉

問一 ㊦ ㊦ むなしい ㊩ ㊦ たがい

〈2点×2〉

問二 あしびきの

〈2点〉

問三 A ㊦ あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の

〈2点×2〉

B ㊦ みかの原 わきて流るる いづみ川

問四 「枯れ」と「離れ」

〈2点×2〉

問五 ・長雨が降っていた間に ・もの思いにふけていた間に

〈3点×2〉

問六 (1) 1 ㊦ ア 2 ㊦ オ 3 ㊦ ウ 4 ㊦ エ 5 ㊦ イ

〈1点×5〉

(2) 1 ㊦ 「秋」と「飽き」 2 ㊦ 「松」と「待つ」

〈2点×2〉

問七 (1) 初句切れ

〈2点〉

(2) エ

〈3点〉

問八 「滝」 ㊦ 「流れ」 ㊦ 「音」 ㊦ 「聞こえ」

〈2点×2〉

問九 A ㊦ カ B ㊦ エ C ㊦ イ D ㊦ ウ E ㊦ ア F ㊦ オ

〈2点×6〉

付録①

問一 (1) || ウ (2) || イ

〈3点×2〉

問二 十七 (二七)

〈4点〉

問三 I || 空間的 II || 時間的

〈5点×2〉

問四 ア・ウ

〈5点×2〉

付録②

問一 A 〓 天地 B 〓 男女

〈6点×2〉

問二 イ

〈8点〉

問三 紀貫之

〈5点〉

問四 ア

〈5点〉